

説明文の内容を読み取る

月 日 年 組 番

名前

正答数

5

マーク



次の文章を読んで、下の問題に答えましょう。

けもの道（野生動物が通る道）は、現在ではたどることがむずかしくなっています。山おくまで自動車道路が通じ、人家も多くなったために、動物が少なくなったせいもあります。

①、わたしたちが山おくを歩く機会が少なくなつて、歩きが不得意になったからでもあります。

もしだどってみるとすれば、イノシシの移動のあとがいちばん歩きやすい、といえるでしょう。

イノシシは、手足をのぞく体けいが人間に近く、人間がからだを動かしやすいところを通っています。それに、イノシシの道は、山おくにむかうだけでなく、クマやカモシカよりも人里近くにも通じています。イノシシには、どろ田でぬたをうつ習性があるからです。ぬたをうつというのは、どろを四本足でかき起こし、その中をごろごろ転びまわる動作のことです。イノシシがぬたをうつののは、毛のあいだについたノミやシラミ、イエダニなどのき生虫を落とすのと、ヤブカにさされるのを防ぐため、といわれています。ぬたをうつには、水田はつごうのよい場所です。

もう一つ、イノシシが人里におりるのは、好物の根菜類（とくにイモ）を食べるためです。山に根菜類が不足すると、里におりてきては、畑のイモなどをきばでほり出して食いあらず。だから、イノシシの道は、山から里へと通じているわけです。

イノシシの通る道のことを、ぞくにウツといえます。イノシシは、ウツをはなれて歩くことはほとんどありません。てきに追われたときも、ウツを、文字どおり猪突猛進してにげるのです。そこでウツに待ちぶせしていれば、イノシシのかりは、クマやシカにくらべてひかく的たやすい、といわれます。

（神崎宣武「山と道」より）

(1) ①に入る言葉を、次から一つ選びましょう。

- 1 ところが 2 また 3 そこで

(2) イノシシの道は、人里近くにも通じていますとありますが、イノシシが人里にやってくる理由はいくつ書かれていますか。漢数字で答えましょう。

(3) イノシシがぬたをうつとありますが、「ぬたをうつ」ことの説明として正しいものを、次から一つ選びましょう。

- 1 四本足でどろをすくって体にぬりつける。

- 2 かき起こしたどろの中を転びまわる。

- 3 毛のあいだについたヤブカを落とす。

(4) ウツに待ちぶせしていれば、ひかく的たやすい、といわれますとありますが、なぜこのようにいわれるのですか。□に入る言葉を文章中からぬき出しましょう。

イノシシが、

歩いたりにげたりすること

ことは、ほとんどないから。

(5) 次のうち、文章の内容に合うものを一つ選びましょう。

- 1 人間が山おくを歩く機会は多くなった。
- 2 イノシシは人間と動き方がにている。
- 3 イノシシは畑のイモをきばでほり出す。

（ ）

説明文の内容を読み取る	
(1)	2
(2)	二(つ)
(3)	2
(4)	ウツをはなれて
(5)	3